



2020年12月3日

報道関係者各位

株式会社東急Re・デザイン

～最新の働き方改革+With コロナ対応オフィス～

## 東急Re・デザイン「ライブオフィス用賀」OPEN

東急不動産ホールディングスグループの株式会社東急Re・デザイン（本社：東京都世田谷区 代表取締役社長：細田 正典）は、スペースパートナー事業ユニットの使用する用賀オフィス（東京・世田谷区）を「これからの働き方」と「オフィスの在り方」を追求する実証型オフィスに改装し、「ライブオフィス用賀」としてオープンいたしました。



### ■「これからの働き方」をLIVE

今、コロナ禍で働き方が変化し、オフィスの役割も見直しが迫られています。東急Re・デザインは「これからの働き方」と「オフィスの在り方」を追求するために、用賀オフィスを、実際に社員がここで働きながら、新しいワークスタイルにチャレンジしていくリアルな姿をご覧いただける「ライブオフィス用賀」へとリノベーションいたしました。

### ■空間デザインコンセプト『Loft Studio & Atelier』

空間デザインは、働く人の帰属意識やモチベーションを喚起し、企業の象徴的な存在感を表す重要な要素と考えます。

「ライブオフィス用賀」では、私たちの仕事の源泉である「モノづくり」の現場で、クリエイティビティがカタチになっていく臨場感をコンセプトにデザインしました。



## ■人と人が『ツナガル OFFICE』

我々の営むデザインコンストラクション業において、プロジェクトメンバーの「つながり」「機動力」が付加価値の源泉と考え、メンバーが組織の垣根を越えて集まり、さらにお客様や協力会社様との共創を活性化するオフィスを目指しました。

また、急速にテレワーク化が加速する今、リモート活用がされる一方で薄れがちな人と人との「つながり」「コミュニケーション」を活性化する工夫をしました。



## ■これからの働き方を加速する仕掛け

ワーカー自らが業務の目的に合わせ、最も仕事がしやすい「場所」と「時間」を選ぶという「これからの働き方」に対応するため、様々なワークスペースと工夫を凝らしました。



## ■With コロナ対策

先行き不透明なコロナ禍の影響下、この先のニーズや情勢の変化に対応できるよう、執務スペースの間仕切り壁を最小限にし、可動式の什器やオフィス家具を多用するなど、レイアウト変更が可能な形になっています。また、感染拡大を抑制するとされる、人口密度コントロールが可能な什器、抗菌効果のある装置・建材・塗料、非接触顔認証ロックなど様々な対策を施しました。

### TOPIC

## Withコロナ対策

ライブオフィス用賀では、さまざまな「Withコロナ対策」を実施。その効果や使い勝手を実証実験しています。

#### 人口密度コントロール

● 可動式デスク・スタッキングチェア  
可動式デスクや積み重ねて収納できるスタッキングチェアを使用。ソーシャルディスタンスや人口密度を随時コントロールしています。

#### 抗ウイルス対策

● エアロシールド  
室内の空気を殺菌する「エアロシールド」を来客用ミーティングエリアに設置。

● 抗菌カーペット・抗菌クロス  
ウイルスの増殖を抑制するカーペットやクロスを一部の床や壁面に使用。

#### 入館管理

● 顔認証・体温センサー  
エントランスには熱を感知する顔認証・入館管理システムを設置。

・検知枠（顔追尾有）  
・顔認証結果  
・体温測定結果

#### 非接触

● 自動ドア・タッチレス水栓  
出入口の自動ドアやキッチンのタッチレス水栓などオフィスの非接触化を促進。

タッチレス水栓

出入口は自動ドア

オフィスリニューアルや働き方改革の推進を考えるお客様に、私たちが働くリアルな姿をご見学・ご体感いただきながら、新しいヒントを見つけていただけたら幸いです。

## ■特設 Web サイト

当オフィスでPC/スマートフォンで施設見学が体験出来るコンテンツもご用意しております。

3D ビジュアルコンテンツ：<https://www.spacepartners.jp/liveoffice>

以上